

平成 26 年度「山九マイスター」に 3 名認定

当社の山九マイスター制度にて、4月1日下記の3名が選出されましたので、お知らせいたします。

堺支店	溝木 秘都史	仕上げマイスター	52 歳
八幡支店	石川 広重	機械保全マイスター	54 歳
八幡支店	田才 祐二	溶接マイスター	57 歳

これにより、現在の山九マイスターは 19 職種 19 名となりました。新任マイスターの選出理由等、詳細につきましては下記をご覧ください。

山九マイスター制度は、社内外から一流と評価される水準にまで匠の技を極め、且つ、人物的にも他の模範となる技能者に「マイスター」の称号を贈り、社全体の高度技能習得意欲向上と技能伝承促進を図るため 2001 年より開始した制度です。

これからも山九グループは人材育成に励み、お客様に貢献してまいります。



溝木 秘都史 (みぞき ひとし)

製鉄所のライン設備の仕上げにおいて、安定操業に必要な仕上技能を持ち、経験、知識及び指先の感覚の鋭敏さで機械の組立仕上げをする。精度 1/1000mm での測定をし、全長が数百 m のラインであってもロールを高精度で据付ける。



石川広重 (いしかわ こうじゅう)

連続鋳造設備のガイドロール・ピンチロールセグメント本体の機能・構造に精通し、高精度な分解・組立・部品点検・調整を行う。セグメント整備でも湾曲部の調整を高精度に収める。故障・突発作業においてはその起因追及及び対策処置を的確に遂行する。



田才 祐二 (たさい ゆうじ)

製鉄設備の特殊鋼や超薄板等の補修溶接を行う。材料の特性を熟知した実践的な補修溶接技術を有し、それに伴った溶接施工の計画・立案・実行まで実施し、また欠陥及び不良箇所の原因究明と的確な再発防止策を策定する。